

優秀賞

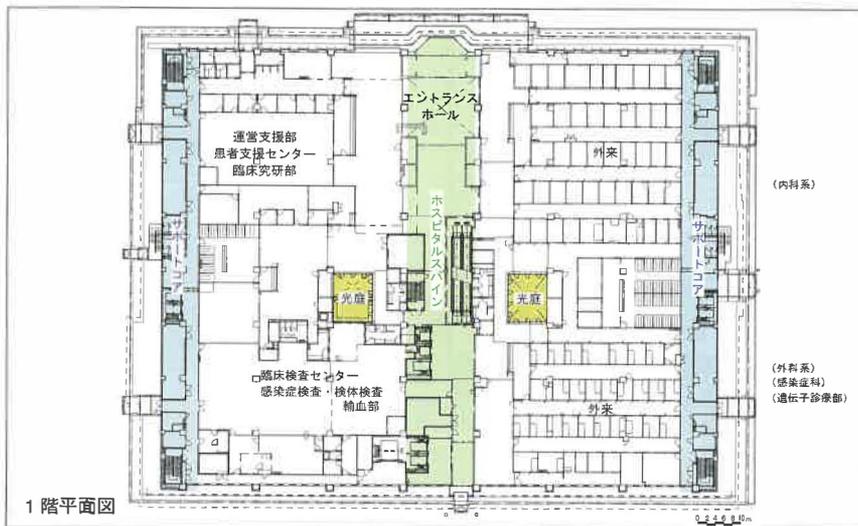
生活施設
(中国地区)

広島大学病院 診療棟



2層吹抜のエントランスホール

病院の新しい顔となる正面ファサード



所在地 広島県広島市南区露 1-2-3
広島大学露団地構内

敷地面積 (m²) 142,646

建築面積 (m²) 6,887.01

延床面積 (m²) 38,554.07

構造/階数 RC造/地上5、地下1

事業者 広島大学

設計者 (株) 梓設計

施工者 (株) 竹中工務店

竣工年月 2013 (平成 25) 年 4 月

総工事費 12,475.05 百万円

大学病院という高度な医療施設の心臓部である診療棟を、軟弱地盤である建物敷地の地盤改良を含めて、災害時においても機能する医療施設として新築している。これは、地域住民だけでなく広域な医療施設として、人々に安心して信頼できる医療体制の確保を実現したもので、公共性の面から特筆すべき企画といえる。建築計画として、患者の動線と医療スタッフの動線を、建物中央と周囲とで完全に分けるという優れた動線計画により、複雑な医療種類に対して分かりやすく整然とした平面計画となっている。

断面計画では、地下部分に最新の医療機械を駆使用する診療部を設け、各階の診療科をバランスよく配置することで全体を単純なボリュームとしている。特に地下部分は、放射線治療のための厚いコンクリート壁による重量バランスの偏心を、巧みな壁配置によって防いでいる。さらにロボットを利用することで手術階における医療人員の削減など、先端技術に対応した動線計画にも優れたものがある。地下免震層とピットの配置なども、巧みに将来の医療機器の変更に対してフレキシブルに対応できるとともに、光庭、屋上庭園、外壁植栽などのエコロジカルな建物としての配慮にも、高い公共性を示しているといえる。

次世代の医療を担う Green Hospital

広島大学病院は特定機能病院、がん診療連携拠点病院、高度救命救急センターに指定されており、広島県における高度先進医療を担う医療機関の一つとして、地域医療における中心的な役割を担っています。本診療棟はこれらの機能の充実を図るため、老朽化した既存外来棟と中央診療棟を一棟に集約させ改築整備致しました。

患者様や利用者の皆様に、より優しい施設になるよう「グリーンホスピタル」をコンセプトに屋上庭園や壁面緑化、待合スペースに面する光庭等を設け、院内にはグリーンを連想させるアートの配置も行いました。利用者の皆様からは「清潔で明るく利用しやすい病院」と好評を得ています。

(田中宏・国立大学法人広島大学 財務・総務室 施設部 施設企画グループ グループリーダー)